

水越典子

フルートのたのしみ No.31

フルート音楽の変遷を時代を追って辿る道、今回は1940年から1960年頃までに生まれた作品を取り上げます。
マルティヌー、ドホナーニ、ブロッホは、チェコ、ハンガリー、スイスと国は違えど、共に世界大戦で運命を翻弄された作曲家達。
日本、フランスの作曲家の作品と対比してお聴き頂ければと、プログラミングしてみました。
今回は、ピアニスト砂原悟氏をゲストに迎え、お楽しみ頂きます。

PROGRAM

- | | |
|---|--|
| ① 高田 信一 (1920-1960)
Shinichi TAKADA | 五つの抒情詩
Five Lyric Poems |
| ② Ch.ケックラン(1867-1951)
Charles KOEHLIN | ネクテールの歌 フルートソロの為の
Les chants de nectaire pour Flûte seule |
| ③ B.マルティヌー(1890-1959)
Bohuslau MARTINU | ソナタ 第1番
Fist Sonata |
| ④ F.プーランク (1899-1963)
Francis POULENC | ソナタ
Sonata |
| ⑤ E.v.ドホナーニ (1877-1960)
Ernst von DOHNANYI | アリア 作品48-1
Aria op.48-1 |
| ⑥ E.ブロッホ (1880-1959)
Ernest BLOCH | 2つの最後の詩
Two Last Poems (May be...) |

●フルート 水越典子

Noriko Mizukoshi



京都市立芸術大学音楽学部卒業。川口勝治郎、白石孝子、伊藤公一、植村泰一の諸氏に師事。オーレル・ニコレ、ハンス・ペーター・シュミッツ、ポール・マイゼン、京都フランス・アカデミー等の講習会を受講し、研鑽を積む。81年、83年、85年、京都にてリサイタルを開催。84年、86年、87年、ギターの藤井眞吾氏とデュオ・コンサートを開催。88年より室内楽リサイタルシリーズ「フルートのたのしみ」を毎年主催し、97年からは小品によるシリーズ「フルートのこかげ」も催して、フルート

音楽の魅力を探り続けている。テレマン室内管弦楽団、京都室内協会合奏団と協演するなど、独奏、室内楽と幅広く活動している。2001年大阪文化祭賞奨励賞を受賞。2006年、世界11ヶ国を小品で巡るCD「フルートのこだま 詩の旅人」リリース。現在、日本フルート協会常任理事、ムラマツフルートレッスンセンター講師。

●ピアノ 砂原悟

Satoru Sunahara



東京芸術大学付属高校を経て、1983年同大学卒業。同大学院在学中の1985年ドイツ学術交流会(DAAD)の奨学金を得て渡独。1987年、ミュンヘン音楽大学マイスタークラスを修了して帰国。1988年東京芸術大学大学院修了。1993年まで同大学院博士後期課程に在籍した。現在、日本各地で、独奏、

室内楽、歌曲伴奏などの演奏活動とともに、コンクール審査、クラヴィコード演奏も行っている。1984年日本音楽コンクール入選。1987年ポルト市国際ピアノコンクール(ポルトガル)入賞。1988年東京芸術大学大学院にてクワイター賞受賞。京都市立芸術大学准教授、東京芸術大学講師。2008年マイルストーンレーベルより「クラヴィコードの植物文様」(藤枝守作曲)をリリース。レコード芸術誌で「準特選」を受けた。宮島敏、中山靖子、クラウド・シルデ、小林仁の各氏に師事。

●2012年11月3日(土・祝) 15:00

Saturday 3 November 2012, 3:00pm.

●ムラマツ リサイタルホール 新大阪

●入場料 一般 ¥3,500

日本フルート協会 会員 ¥3,000

■後援 日本フルート協会

■お問い合わせ スタジオM TEL.FAX. 06-6312-3740
村松楽器 大阪店 TEL. 06-6394-6000

■チケット前売 e+(イープラス) <http://eplus.jp/>
ローソンチケット TEL. 0570-000-407(Lコード:54696)
ムラマツリサイタルホール TEL. 06-6398-6988



大阪市淀川区西宮原2-1-3 ソーラ新大阪21ビル 1F
地下鉄：御堂筋線「新大阪」④出口 徒歩6分
J R：新幹線・東海道線・京都市営「新大阪」より地下鉄駅へ向い ④出口 徒歩10分